

ドクターズチェック基準一覧

ペットファーストでは、お客様とペットが幸せに暮らしていけるよう、ブリーダーさんからペットをお預かりする際と、ペットファースト到着時に、下記の基準を元に全頭検査を行っており、下記基準に当てはまるペットについてはブリーダーさんからお預かりしておりません。成長に伴い変化していく項目もございますので、お客様のご自宅でも引き続きペットの健康面に気を使っていただくようお願い致します。



部分	部位	項目	説明	
頭部	口	門歯	3本以下(通常6本です)、片側2本欠歯	
		オーバーショット	歯3本分以上	
		アンダーショット	歯2枚分以上 (アンダーがスタンダードな品種は適応しない)	
		顎ズレ	顎が左右や斜めにずれていて、犬歯が噛み合っていない状態	
		犬歯	向きが左右非対称、未生、色が正常でない	
		口腔内	口蓋裂、歯肉欠損	
			腫瘍、大きな炎症	
		口唇部	口唇炎、鼻の下が切れている	
		舌	舌の口内炎・潰瘍、舌色蒼白	
	症状(咳、呼吸状態)	自発咳(くしゃみ連発含む)、努力性呼吸、開口呼吸、肺炎		
	鼻	外観	鼻孔左右非対称(奇形、欠損)、鼻腔狭窄、奇形、鼻腔内に毛が生えている	
		症状(鼻水の状態)	青鼻	
	眼	瞳孔	瞳孔膜遺残(目立つもの)	
			異形、収縮なし、左右非対称	
		斜視(寄り目や外目)	正面から見て、3分の1以上白目が見えるもの、片目だけ斜視	
		色	バイアイ、ブルーアイ、オッドアイ	
		大きさ	左右非対称	
		逆さまつ毛	眼球に入っているもの(異所性睫毛、眼瞼内反症によるもの)	
		角膜	類皮腫	
			白濁(肉眼で認められるもの)、傷(白濁があり症状があるもの)、ドライアイ	
		結膜	浮腫がある	
		第三眼瞼腺	チェリーアイ症状(赤く腫れている)	
		マイボーム腺腫	1mm以上、2つ以上、赤みのあるもの、眼球にあたっているもの	
耳	形状	欠損している、歪んでいる、左右の大きさが異なる		
	外耳炎	膿が出ている、肥厚して赤く腫れている、などの継続的な治療が必要なもの		
泉門(ペコ)	大きさ(犬)	中心のペコの直径4cmを超えるもの		
	大きさ(猫)	直径が1cmを超えるもの、3つ以上		
その他	水頭症を疑う症状	V/B比検査25%以上		
全身	皮膚	脱毛(頭部以外)	病的なもの、外見上目立つもの	
		脱毛(頭部)	直径2mm以上のもの、目立つもの	
		フケ(頭部、四肢以外)	病的なもの	
		フケ(頭部、四肢)	病的なもの	

部分	部位	項目	説明
全身	皮膚	湿疹、膿疱(頭部以外)	全身性なもの、病的なもの
		湿疹、膿疱(頭部)	4つ以上
		毛薄	病的に毛が薄いもの(脱毛症、外傷によるもの)
		真菌	ウッド灯で発光するもの
		かさぶた、傷痕	化膿しているもの、目立つもの
		乳頭腫	顔面にあるもの、1か所に3つ以上など目立つもの
		コラーゲン母斑	2個以上
		しこり	原因不明なしこり、原因がワクチンやマイクロチップであっても大きいもの
		手術痕	触って糸が触れる、切皮線があるなど元々手術した形跡のあるもの
胸部	骨格	形状	漏斗胸、形状異常、胸椎・肋骨の欠損
		剣状突起	尖って異常に飛び出す
	心音	心音	雑音有り ※獣医師が無害性雑音(生理的雑音)と診断する場合は可
腹部	ヘルニア	臍ヘルニア	内容物が内臓 押して戻らない、穴の直径分より飛び出しているもの
		鼠径ヘルニア	腸が逸脱し、腹圧をかけて摘まめるもの 押して戻らない
		陰囊ヘルニア	内容物が内臓
	陰部	形状、症状	形状がおかしいものや炎症がひどいもの、♀限定で極度の陥没・陰核突出
四肢	前肢	形状	手首、腕が曲がっており、左右非対称なもの
	肩・肘	脱臼	両腕を均等に伸ばした時、左右で長さや伸展が異なる
	膝蓋骨	膝蓋骨脱臼(パテラ)	GIII、GIV、起立時に外方へ脱臼するもの
	指・爪・パッド	指・爪(狼爪、狼爪跡)・パッド	奇形、欠損、猫のパッド繋がり、犬のパッド繋がり3分の1以上
	股関節	後肢の発達、歩様の状態	起立不可、歩様異常
尾部	尾	尾曲り	極端に曲っているもの、病気や後天的な外傷によるもの
		尾長、尾短	スタンダードを逸脱しているもの
		断尾	断尾しない品種で断尾されているもの
		断尾痕	尾椎が顕著に露出している、尾先が横から見て毛で隠れないほど薄いもの
		感覚	力が入らない(神経が通っていない)、軽く触れるだけで痛がる
その他	神経症状	症状の例	てんかん、頭部振戦、眼振、旋回運動、歩様異常、斜頸など
	体調	便	血便
		内部寄生虫	糞線虫、鉤虫(卵)、マンソン裂頭条虫(卵)、壺型吸虫(卵) ※兄弟も対象に含む
		外部寄生虫	シラミの卵、疥癬、アカラス症
		CPV検査	陽性反応
		体躯	異常に痩せている
	体重	犬	350g未満
		猫	550g未満
	外見	外見	上部記載以外であっても、獣医師が健康異常と診断したもの
部位		上部記載以外であっても、獣医師が健康異常と診断したもの	